

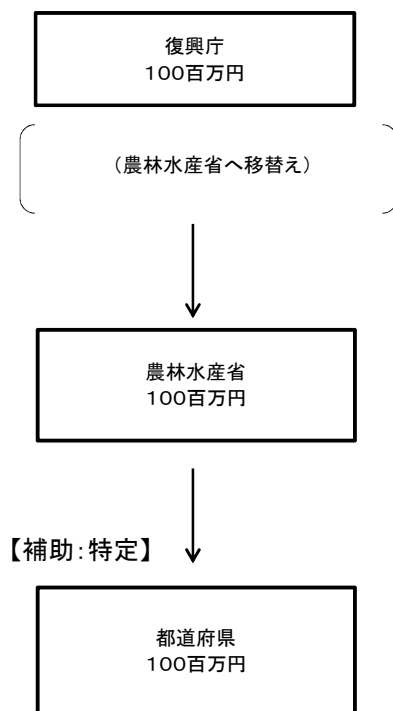
平成25年行政事業レビューシート

(復興庁)

事業名	ほだ木等原木林再生事業		担当部局庁	復興庁	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成26年度～平成30年度		担当課室	統括官付参事官(予算会計担当)	参事官 大野 秀敏			
会計区分	東日本大震災復興特別会計		政策・施策名					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	東日本大震災復興基本法 第3条		関係する計画、通知等	福島復興再生基本方針				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	東京電力福島第一原子力発電所の事故により放出された放射性物質の影響により、しいたけ等の生産に不可欠なきのこ原木が放射性セシウムの指標値を超えたため生産できない地域が発生し、全国的にきのこ原木が不足している状況にある。原木不足の解消や将来のきのこ原木の安定供給、また、被災地域の復興を図るためにも、現在、きのこ原木の生産ができない地域のうち可能な箇所から早期の生産再開が必要である。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	きのこ原木等の将来に向けた安定供給を図るため、比較的線量が低い地域において、既存の原木林等の次世代への更新に必要な伐採や必要な作業道の整備を実施。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算					100	
		繰越し等						
		計					100	
	執行額							
	執行率(%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (30年度)
	事業実施市町村における広葉樹林の更新面積を東日本大震災前までの水準に回復させる。			成果実績				調整中
				達成度	%			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	26年度活動見込
	本事業にて実施される伐採面積(ha)			活動実績 (当初見込み)		()	()	(350ha)
単位当たりコスト	285(千円/ha)			算出根拠	予算額÷活動見込(伐採面積) 100,000千円÷350ha			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	ほだ木等原木林再生事業	—	100					
	計		100					

事業所管部局による点検				
	項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	本事業は、東京電力福島第一原子力発電所の事故により放出された放射性物質の影響により、停滞している広葉樹林の伐採を促進し、将来的なほだ木等の安定供給を目的としており、優先度は高く、国において実施すべき事業である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	—		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	—		
	単位当たりコストの水準は妥当か。	—		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	—		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	—		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	—		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	—		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	—		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	—		
	事業番号	類似事業名		所管府省・部局名
点検結果	<p>【事業の成果目標及び活動指標が立てられているか、また、事業効果のシミュレーションが厳密に行われているか(費用対効果、投資対効果等)、その際、より効率的な他の手段の選択の可能性について、真剣な検討が行われているか】</p> <p>・これまでに得られた森林内の放射性物質の分布状況等を踏まえた事業であり、成果目標及び活動指標の設定に際しては、事業の趣旨、中長期的な目標等を勘案している。</p> <p>【直接の利害関係者からの要望にとどまらず、広く国民のニーズに答えるものとなっているか】</p> <p>・本事業は森林所有者等の林業関係者のみならず、将来にわたりきのこ原木を全国的に安定供給していくための事業である。</p> <p>【そもそも立案しようとしている事業は、当該府省のミッション(任務)なのか】</p> <p>・本事業は、原木林等の次世代への更新に対し支援を行うものであり、特用林産物の安定供給や森林の整備を担う農林水産省のミッションである。</p>			
外部有識者の所見				
行政事業レビュー推進チームの所見				
きのこ原木等の将来に向けた安定供給を図るため、効率的・効果的な事業の実施に努めること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況				
備考				
関連する過去のレビューシートの事業番号				
平成22年		平成23年	平成24年	

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り
先が何を行っている
かについて補足
する)(単位:百万
円)